

はじめに

東京都では、平成 19 年度に東京都自立支援協議会を設置し、様々な障害を有する方々が、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を営むことができる地域社会を構築するための協議を重ねてまいりました。

第 8 期（令和 5 年度及び 6 年度）においては、「協議会において合理的配慮による当事者の主体的な参画を推進するとともに、地域課題への取組過程の共有により、地域協議会活動の活性化を図る」をテーマに活動を進めてきました。

令和 6 年度は、「障害当事者からみた地域移行・地域生活支援の課題を共有する」を活動方針とし調査項目を整理しました。さらに、厚生労働省が実施した「全国ブロック会議（関東ブロック）」の内容も踏まえ、調査項目を追加しました。

調査結果からは、地域ごとの特色や課題が浮き彫りになり、今後の活動の方向性を示す貴重な情報が得られました。この冊子が、関係者の皆様にとって有益な資料となり、今後の自立支援協議会活動の一助となれば幸いです。

最後に、調査の実施にあたりご協力いただいた地域自立支援協議会関係者の皆様に深く感謝申し上げます。特に、第 8 期の振り返りとして、今回御寄稿もいただきました岩本操様は、4 期 8 年間にわたり会長として当協議会を運営し、当事者参画や地域協議会の活性化に尽力されました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和 7 年 6 月

東京都心身障害者福祉センター所長 玉岡 雄太